

(4)各委員会の意見発表

① 第1委員会

「平和を大切にする心を育むまちづくり」



それでは、第1委員会の意見を発表します。

第1委員会のテーマは、「平和を大切にする心を育むまちづくり」です。このテーマについて考えるため、^{わたし}私たちは、7月25日に、愛知・名古屋戦争に関する資料館の施設見学を行いました。

そこで、^{わたし}私たちは、E46焼夷弾や250キロ爆弾などの兵器を見ました。

戦争でこのような兵器が使われて、たくさんの建物が燃えてしまったり、大勢の人々が亡くなったりしました。生き残った人も家や家族を失って、とてもつらい記憶が残りました。戦争はとても恐ろしく、命は一番の宝であると、^{わたし}私たちは実感しました。もう二度と同じことを繰り返さないようにしなければなりません。外国との友好を深め、平和な社会にしていきたいと思います。

その後、^{わたし}私たちは、施設見学をしてわかったことや思ったことをもとに、名古屋を「平和を大切にする心を育むまち」にするためには何をすればいいか考えました。

それでは、^{わたし}私たちが考えたことを順番に発表します。

○子ども議員

第1委員会の子ども議員です。

僕は、愛知・名古屋戦争に関する資料館を見学させていただきました。そこで僕が一番気になったのは、E46 集束焼夷弾というとても恐ろしい爆弾です。1発撃つことで一度に36発もの爆弾を同時に飛ばすことができるので、昔の日本の家は木や紙でつくられている家が多いので、すぐに燃えてしまいました。また、何回もその爆弾を落としてきたので、爆弾の雨のように降ってきて、たくさんの人が亡くなりました。

戦争はとても恐ろしいものなので、こんなことが二度と起きないようにしたいです。

○子ども議員

第1委員会の子ども議員です。

私は、ことし第1委員会にて「戦争」についていろいろな方々からお話を聞いたり見たりしました。

見た中で一番心に残ったのは、E46 集束焼夷弾です。理由は二つあります。

一つは、第二次世界大戦で約43万発使われたことです。一つに36発入っています。たくさんの人々がけがをしたり、亡くなったりするので、こんなことはこれからずっとやってはいけないと思いました。

二つ目は、B29から雨のようにE46が落ちてきたことです。上から雨のように降ってくるので、いつ降ってくるかわからないので、とても怖いのです。人の命を軽く見ていると思いました。

○子ども議員

第1委員会の子ども議員です。

^{わたし}私は、この戦争についての施設見学をして、戦争で使ったいろいろなものを見て、戦争の残酷^{さんこく}さを実感しました。

^{わたし}私は戦争でたくさんの方が亡^なくなってしまったことを、前からお母さんやほかの人に聞いたりしていました。^{わたし}私は、その話を思い出すたびにとても悲しくなります。なので、二度とこのようなことが起きないようになってほしいと思います。

そのために、みんなが仲よく助け合うことをしたほうがいいと思います。それと、戦争のために前からバケツリレーなどをしていましたが、役に立たなかったのも、もっと戦争が起きたときの訓練もいっぱいやったほうがいいと思いました。

○子ども議員

第1委員会の子ども議員です。

^{わたし}私がこの戦争のことについて学び、感じたことは、戦争の怖^{こわ}さと恐^{おそ}ろしさです。

戦争では、E46という焼夷弾^{しょういだん}や250キロの爆弾^{ばくだん}がたくさん落ちて、一瞬^{いっしゅん}にして家や人、いろいろな建物が焼かれてしまいました。そして、いろいろなものが不足して、たくさんの方がつらい思いをします。今の時代では、このようなことはあり得ないことだと思いますが、戦争はこの時代へと争いや戦争を二度と繰^くり返してはいけな^{ぜったい}いと伝えているのだと思い、平和のためには絶対にそれを守っていかないといけないと思いました。

○子ども議員

第1委員会の子ども議員です。

戦争のときの悲しみを教訓に、もう二度と同じことをやらないと誓^{ちか}い、全員が平等に生活できるように頑張^{がんば}りたいと思いました。

また、資料館^{しりょう}を大切にし、見学することで、「戦争を起こしてはいけないんだ」という意思をつくる必要があると思いました。

あと、みんなの平和に対する思いが、この世界を平和にする第一歩だと思うので、みんなに考えてもらいたいと思いました。

○子ども議員

第1委員会の子ども議員です。

名古屋を、「平和を大切に作る心を育おまち」にするには、することがたくさんあると私^{わたし}は思います。まず、過去^{かこ}に起きた大きな戦争などが二度と起きないように努力すること。例えば、戦争^{けいけん}などを経験した人々の話を聞いて、戦争のどこが悪いかなどのことを知り、それをどうやって直すかを考えることが大切だと思います。

そして、戦争は恐ろしいことであり、大切な命^{うば}を奪うことになるということをみんなに教える必要があると思いました。こうすれば、名古屋は少しでも「平和を大切に作る心を育おまち」になると思います。

○子ども議員

わたし 私は、第1委員会の子ども議員です。

わたし 私は、第1委員会で戦争について学びました。平和にするには一人一人が平和にしたいと心の中で思ったりしたら、少しでも心が穏やかになり、少しでも平和になると思います。

子ども市会で学んだことを生かして、命を大切にし、自分自身が思う平和を自分の目標にして頑張りたいです。がんば 私の思う平和は、ほかにもあり、難しいかもしれないけど、日本の人や世界のいろいろな人々が協力して、よい国を目標に頑張れば、世界の人も日本の人も、もっともっと平和を大切にできると思います。

○子ども議員

第1委員会の子ども議員です。

わたし 私たち第1委員会は、戦争のことを知るために、戦争に関する資料館に行きました。そこに飾ってあったすごろくの紙の中に、「お国のために特訓だ」、「廃物利用もお国のために」、「兵隊さんに感謝しましょう」、「お国の品を大切に」などと、そのときの教訓がたくさん入っていました。みな 皆さんはこんなもので遊びたいですか。このときの子どもたちは、これで平気で遊んでいたと思うと、私は内心ぞっとしました。そして、この「お国のために」で、たくさんの方が死んだのです。もう二度と同じ過ちを起ささないよう、戦争のことを忘れないよう語り継ぎ、一人一人が「戦争なんて恐ろしいことはもう二度としないぞ」という意識をすることが大切だと思いました。

○子ども議員

第1委員会の子ども議員です。

僕は、第1委員会で、愛知・名古屋戦争に関する資料館に行きました。そこで戦争の恐ろしさを改めて知ることができました。特に恐ろしいと思ったのは、このあたりで被害が大きかった空襲です。空襲で一日に約500人の人が亡くなり、約2万件もの建物が壊れています。そのようなことが二度と起きないようにするために、市政が戦争の恐ろしさや平和の大切さを伝える活動をし、個人でも平和を大切にしていきたいと思い、「平和を大切に作る心を育むまち」にしたいです。

○子ども議員

第1委員会の子ども議員です。

僕は、戦争に関する資料館に行ったときに驚いたことがあります。空襲が起きたときに投下されたE46焼夷弾という爆弾です。理由は二つあります。一つは、すごい量の人や家がなくなってしまったことです。もう一つは、なぜアメリカ人はこんなものを平気につくったということです。アメリカ人も自分の国のためだと思ってつくったのでしょうけれども、自分の国のためには自分の命のため、自分の国の人のためになると思います。それなら、日本も同じです。日本にも人がいるのです、命があるのです。そういうことを考えると、アメリカ人は日本に攻められるからと思うのではなく、みんなで平和にしようという心がけが必要だと思います。

今も朝鮮の爆弾のことやテロのことが問題になっていますが、それも一緒です。自分の命のため、自分の国のためではなく、ほかの国のため、ほかの人のためを思いながらも、自分の国のため、自分のためになるようなことをしていかなければなりません。だから、もう二度とほかの国に占領される、占領する、攻撃するなどということはやってはいけないと思いました。

○子ども議員

第1委員会の子ども議員です。

僕^{ぼく}が戦争に関する資料館^{しりょう}を見学して、一番印象に残ったことはE46集束焼夷弾^{しょういだん}です。1発で36発に分かれる焼夷弾^{しょういだん}は、雨のように降り、木造^{もくぞう}の家は約20秒で焼き尽く^つすそうです。さらに、現在の日本^{げんざい}の国土の3分の2が山地のため、とても大規模な被害^{だいきぼ ひがい}になると思います。そこで、僕^{ぼく}たち第1委員会は、戦争はあってはならない、そして外国との友好を深めてほしいと思いました。最近では、北朝鮮^{ちようせん}問題やテロリストの問題があり、そういった面でも対策^{たいさく}しなければなと思いました。

○子ども議員

第1委員会の子ども議員です。

私^{わたし}は、戦争に関する資料館^{しりょう}を見て、E46集束焼夷弾^{しょういだん}という爆弾^{ばくだん}に驚^{おどろ}きました。そのころの人々は、爆弾^{ばくだん}に備^{そな}えるため、バケツリレーという方法を練習していましたが、実際^{じっさい}には全く役に立たず、多くの人が亡^なくなってしまいました。これは今の私^{わたし}たちにも共通するところがあると思います。もし、今^{さいがい}、災害^{さいがい}が起きたとき、自分が身につけている対処法^{たいしょ}が役に立たなかったら、皆^{みな}さん、一瞬で死んでしま^うと思います。自分の命を守るために、さまざまな場合を想定してしっかり訓練することが大切だと思いました。

○子ども議員

第1委員会の子ども議員です。

名古屋市を「平和を大切に^{こわ}する心を育^{わたし}おまち」にしていくためには、戦争の怖^{こわ}さを知ることが大切だと私は^{わたし}思います。先日、戦争に関する資料館^{しりょう}に行ったとき、戦争当時のす^{ます}ごろくを見ました。す^{ます}ごろくの升には「きょうもお国のために^{がんば}頑張るぞ」など戦争のことが書かれていました。皆^{みな}さんは戦争が子どもの遊び^{みな}まで変えてしまうことを知っていましたか。皆^{みな}さんも資料館^{しりょう}に行ってみれば、もう二度と戦争は起こしてはいけないと感じるはず^{しりょう}です。ぜひ家族や友達と話し合ってみてください。以上です。

^{わたし}私^{わたし}たち第1委員会は、このようなことが名古屋を「平和を大切に^{わたし}する心を育^{わたし}おまち」にするために必要だと考えました。

これで、第1委員会の発表を終わります。



■ さいとう そう む かんきょう とう べん 斉藤総務環境委員長の答弁

第1委員会の皆さん、素晴らしい意見発表を本当にありがとうございました。これまでの2日間、そしてきょうの始まる前のリハーサルという大変短い時間でよくここまで意見を取りまとめ、またトップバッターというとても緊張する場面で元気よく、はきはきと、何よりもすてきな笑顔で発表ができたことを大変うれしく思います。



実は、意見発表されているときは、トップバッターということもあり、子ども委員の皆さん以上に私、大変緊張しておりました。第1委員会では、愛知・名古屋戦争に関する資料館の見学を通じて、「平和を大切にすることを育むまち」にするためには、どうすればいいかということについて考えていただきました。

資料館には、実物の250キロ爆弾や焼夷弾の模型を初めとした資料が多く展示されており、戦争の恐ろしさや戦時中の人々の生活の大変さなどを感じたことだと思います。

また、学芸員さんのお話からも、この名古屋のまちの被害について学ぶことができたと思います。そして、話し合いの中では、戦争の悲惨さとともに、平和や命の大切さについてしっかり考えることができたのではないのでしょうか。

3日間を通し、子ども委員長と子ども副委員長を中心によくまとめ、意見や提案も多く出ていたことに大変感心をいたしましたし、

また、昨今の日本を取り巻く問題や世界情勢についての発言もあり、視野を広く持っていることに大変驚きました。

これからもいろんなことに興味関心を向けていただき、今回考えた名古屋を「平和を大切に作る心を育おまち」にするためのアイデアを実現して、平和な世界をつくっていただきたいと思います。

今回の第1委員会の皆さんからいただいた御意見を我々の総務環境委員会でもしっかりと反映をしていきたいと思っております。

最後に、山田副委員長、西山副委員長、そして指導主事の笹口先生、資料館の職員さんなどの御協力があって、この3日間を有意義に過ごすことができました。本当にありがとうございました。

